



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	7	5 身長体重 計測日	6	7	8
9	10	11 山の日	12	13	14	15 うちわ作り終わり
16	17	18	19 身長体重 計測日	20	21	22
23 わかば相談	24 わかば相談	25	26	27 誕生会	28	29



5日・19日(水) 身長・体重計測日 9時30分から12時

身長・体重を計測したり、育児の相談等にも応じます。

15日(土) うちわ作り週間終わり

好きな時間に来て、可愛いうちわを作ってください。オリジナルのうちわ作り楽しみましょう。

23・24日(日・月) わかば相談 臨床心理士 今村泰洋さん

悩みや困ったことを相談してみませんか。ご希望の方は早めに2-2398までご連絡をください。生涯学習センター・郷の相談室にて行います。

27日(木) 誕生会 10時30分から11時

7月生まれのお友だちをみんなでお祝いしましょう。誕生カードのプレゼントもあります。

※行事は状況により変更または中止になる場合がありますのでご了承下さい。



皆さんにひろばで楽しく遊んでいただくために以下のご協力をお願いします

～子育てひろばは親子で遊べる場です～

- 利用当日、親子で体温を計測してください。発熱(37.5℃以上)以外に、咳・鼻水・下痢・嘔吐などの体調不良、食欲がない、機嫌が悪いなど、いつもと異なった様子の時は利用をご遠慮ください。
 - 解熱後24時間以上が経過し、その他の症状が改善傾向となるまでは、同様の対応をお願いします。併せて、同居家族に発熱や嘔吐・呼吸器症状等の風邪症状等がある場合は、利用を控えていただくようご協力をお願いします。
 - 玄関で必ず手の消毒をしてください。受付時に来所者全ての方検温をお願いします。
 - 帰り際、使ったおもちゃは使用済みおもちゃ用のかごの中に入れるようにしましょう。
- ～お気軽に職員にお声がけ下さい～

子育てひろばでは、熱中症予防の為

暑さ指数 28以上-注意喚起、31以上-戸外遊び・プール遊びを中止とします。

大島町こども家庭センター

通信303(2026年8月号)

～すべての妊産婦・子育て世帯・子どもに関する困っていることや悩んでいることがあればどんなことでもお気軽に相談してください～

わ～わ

くらぶ

妊娠・出産

初めての出産妊娠で不安・なんとなく気分が落ち込む・産後の生活が心配、赤ちゃんが泣いてばかり

子育て

子育てが辛い・子どもの発達が心配・子どもとうまく関われない

家庭

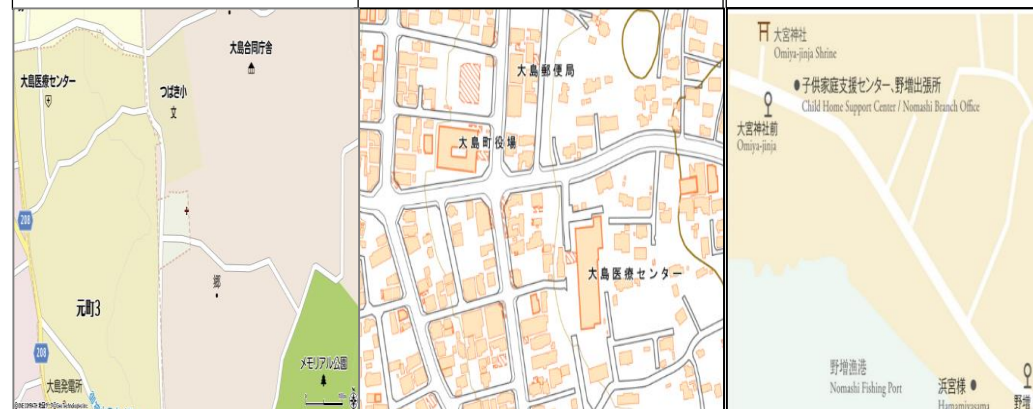
家族のことでイライラする・これからの生活が不安・子どもが一人でいる虐待かもしれない



～子育て、子どもなどに
関する相談～
(生涯学習センター・郷2階)
04992-2-2398

～妊娠・出産に関する相談、乳幼
の健康相談・育児相談～
(町役場1階・福祉けんこう課内)
04992-2-1471

～子育てひろば～
(野増地域センター)
049922-2381



青い空と白い雲が広がり、セミが鳴き夏真っ盛りです。連日うだるような暑さが続いています。室内でも熱中症に注意が必要です。気温に注意がいきがちですが熱中症対策の指標となる「暑さ指数」において、気温よりも重要な要素とされているのは湿度です。バランスの良い食事と十分な睡眠を心がけ、扇風機やエアコンを上手に活用し、暑い夏を乗り切りましょう！

ひろばより

なかよく
お絵かき？



ミルクスティックパン作り



保育園のおやつ（米粉クレープ・チョコクリーム・ほうれん草入りどら焼き）



手作りチョコクリーム

材料 パンにぬると約5人分

豆乳 50g
砂糖 15g
ココアパウダー 3g
コーンスターチ又は片栗粉 3g

作り方
材料を全部合わせて鍋に入れて火にかけます。
とろーりとしたら完成です。

米粉クレープ

材料 約5、6枚

米粉 80g
砂糖 10g
片栗粉 10g
豆乳 170g

作り方
材料を全部合わせてフライパンで少し焦げ目がつくまで焼き完成です。
5、6枚焼くことができます。

熱中症



子どもは体温が上がりやすく、自分で予防できないことが多いため、熱中症になりやすいです。熱中症になると、吐き気や大量発汗などの症状から、重度になると生命に関わることもあります。

参考 日本小児科学会

環境

- 気温や湿度が高い
- 風が弱い
- 日差しが強い
- 閉め切った室内
- 車の中
- エアコンがない
- 急に暑くなった
- ベビーカー（地面からの照り返し）



からだ

- 高齢者、乳幼児、肥満
- 持病がある人
- 低栄養状態
- 脱水状態（下痢など）
- 体調不良（寝不足など）



行動

- 激しい運動
- 慣れない運動
- 長時間の屋外作業
- 水分補給が自分でできない



熱中症を疑う症状

- めまい
- 失神

- 筋肉痛
- 筋肉のこむら返り

- 頭痛
- 吐き気
- だるい

- よびかけに反応しない
- まっすぐ歩けない
- 高体温

重症

応急処置のポイント



意識状態が悪いときには、**救急車を呼んでください。**

冷たい濡れタオルで身体を拭きましょう

扇風機などで風を送り、涼しい場所に寝かせましょう

太い血管のあるところを冷やしましょう

- ✓ わきの下
- ✓ 首
- ✓ 太ももの付け根

家庭での事故（傷害）予防のポイント

こまめな水分補給（経口補水液やスポーツ飲料など）をこころがけましょう

日差しや地面からの熱から守りこまめに日陰・屋内で休憩しましょう

短時間でも車内など暑い環境に置き去りにしないようにしましょう



気温と体温に合わせて衣類を調節しましょう



子どもの異変に敏感になりましょう



屋内では適切にクーラーを使用しましょう



日頃から暑さに慣れておきましょう



実際にあった事例

夏の車内に閉じ込め Injury Alert（傷害速報） No.43 事例2

1歳の男の子 8月末の朝9時半頃、日陰の無い駐車場で乗用車内に閉じ込められた。ガラスを割って救出されるまでにぐったりし体温39.9℃に上昇した。

子育てひろばでは、熱中症予防の為

暑さ指数 28以上—注意喚起、31以上—戸外遊び・プール遊びを中止とします。